

① 研究課題名：

経気管支金マーカー留置後の金マーカー脱落に関連する因子の検討

② 研究の目的：

軟性気管支鏡を用いた金マーカー留置は近年多くの施設で行われています。当院でも胸部陽子線治療の呼吸同期照射を行うために、経気管支金マーカーを留置していますが、しばしば留置した金マーカーが脱落します。これまでに金マーカーの脱落リスクについて様々な検討が行われており、過去に当院では留置部位での脱落率について検討し報告しました。留置部位の他には、閉塞性換気障害の有無、金マーカーの胸壁からの距離についての報告が散見されるものの、比較的少数例での報告に限られています。本研究は、経気管支金マーカー留置を行った際の全体の脱落率を調べるとともに脱落に関与する因子(留置部位・COPDの関与による違い・胸壁からの距離による脱落率の違い)を診療録より後方視的に検討することを目的としています。

③ 研究責任医師

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 呼吸器内科 山羽 悠介

④ 研究の対象：

西部医療センター呼吸器内科において、2013年6月1日から2021年10月31日までに胸部陽子線治療前に経気管支金マーカー留置を行った方。

⑤ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。その後、得られた情報を集計し、統計解析を行います。

⑥ 調査項目：

- 1) 金マーカー留置前の呼吸機能検査 (1秒量・1秒率)
- 2) 金マーカー留置部位及び留置個数
- 3) 金マーカー留置後、金マーカー脱落個数、残存金マーカーの胸壁からの距離
- 4) 陽子線治療終了後、残存している金マーカーの個数と胸壁からの距離
- 5) 金マーカー留置に伴う合併症の有無

⑦ 研究成果の公開

学会にて報告、学術誌への投稿を予定しています。

⑧ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない(あなたのデータを使ってほしくない)場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑨ 利益相反

本研究の計画・実施・発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。

⑩ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	呼吸器内科	山羽 悠介 TEL：052-991-8121 (代表)